



2023年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月15日

上場会社名 株式会社鈴木 上場取引所 東
 コード番号 6785 URL <https://www.suzukinet.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 教義
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 本間 浩正 TEL 026-251-2600
 四半期報告書提出予定日 2023年5月15日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第3四半期の連結業績（2022年7月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第3四半期	19,948	2.4	2,483	9.9	2,425	△1.0	1,504	2.2
2022年6月期第3四半期	19,475	—	2,260	△8.9	2,449	△7.7	1,471	△8.5

(注) 包括利益 2023年6月期第3四半期 1,628百万円 (△20.6%) 2022年6月期第3四半期 2,052百万円 (△0.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第3四半期	104.68	—
2022年6月期第3四半期	102.41	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。売上高に大きな影響が生じるため2022年6月期第3四半期の売上高の対前年同四半期増減率は、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第3四半期	33,949	22,791	65.4
2022年6月期	32,262	21,714	65.7

(参考) 自己資本 2023年6月期第3四半期 22,218百万円 2022年6月期 21,183百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2023年6月期	—	0.00	—		
2023年6月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

2023年6月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 25円00銭 記念配当 5円00銭

3. 2023年6月期の連結業績予想（2022年7月1日～2023年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,506	1.6	2,832	△4.3	2,836	△15.9	1,767	△15.3	122.96

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

2. 第1四半期連結会計期間より、売上原価から控除しておりました有償受給取引における受給品に含まれる標準ス

クラブ価額を「売上高」に含めて表示する方法に変更しております。前期の「売上高」については、この表示方法の変更を反映させた組替え後の数値で比較を行っております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 一社（社名）一、 除外 1社（社名）PT. GLOBAL TEKINDO BERKATAMA

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年6月期3Q	14,404,400株	2022年6月期	14,404,400株
② 期末自己株式数	2023年6月期3Q	69,202株	2022年6月期	32,575株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年6月期3Q	14,374,109株	2022年6月期3Q	14,372,747株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

第1四半期連結累計期間より、「売上原価」から控除していた有償受給取引における受給品に含まれる標準スクラップ価額について、銅材価格の高騰により金額的な重要性が増したことから、有償受給取引に係る加工代相当額をより適切に四半期連結財務諸表に表示するため、「売上高」に含めて表示する方法に変更しております。そのため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度との比較・分析は、この表示方法の変更を反映させた組替え後の数値で行っております。なお、この表示方法の変更が損益に与える影響はありません。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の緩和により経済活動の正常化は進みましたが、世界経済の減速により輸出、生産は伸び悩みました。また半導体不足や部材の需給逼迫の長期化、またロシア・ウクライナ情勢による資源供給や価格上昇の懸念は解消されず、先行き不透明な状況は続いております。

海外におきましては、中国経済はゼロコロナ政策の解除により個人消費は急速に回復し、内需を中心に経済活動は進展しましたが、輸出は低迷しています。米国経済は、雇用・所得環境や堅調な企業収益、またコロナ禍からのリバウンド消費が下支えとなりましたが、高インフレが景気下押しの圧力となり製造業は調整局面となりました。欧州経済は、エネルギー価格の急騰と電力需要の逼迫により企業収益が低下し、消費者物価の上昇など景気低迷は長期化しています。

当社グループにおいては、部品セグメントの主力であるスマートフォン関連部品は低調に推移し、第2四半期連結累計期間まで好調だった産機向け部品や自動車電装部品の受注は第3四半期連結会計期間に入り調整基調となりました。機械器具セグメントの自動機器は、仕入部材の逼迫が解消せず生産計画に対し遅れが生じました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高199億4千8百万円（前年同期比2.4%増）、営業利益は24億8千3百万円（前年同期比9.9%増）、経常利益は24億2千5百万円（前年同期比1.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億4百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①金型

電子機器向け、自動車電装向け金型を主軸として販売してまいりました。電子機器向け、自動車電装向け共に受注が伸びず生産効率が低下しました。

その結果、売上高は11億円（前年同期比6.8%減）、セグメント利益は1億9千5百万円（前年同期比24.3%減）となりました。

②部品

電子機器向け部品、自動車電装向け部品を主軸として販売してまいりました。電子機器向け部品はスマートフォン関連部品の需要は低調に推移し、第2四半期連結累計期間まで好調だった産機向け部品や自動車電装部品の受注は第3四半期連結会計期間に入り調整基調となりました。前年同期比で増収増益となったものの当第3四半期連結会計期間は急激に減速しました。

その結果、売上高は145億6千4百万円（前年同期比4.1%増）、セグメント利益は26億7千9百万円（前年同期比14.8%増）となりました。

③機械器具

各種自動機器、医療器具を主軸として販売してまいりました。医療器具は堅調に推移しましたが、各種自動機器は購入部材の逼迫による影響で生産計画に対し遅れが生じて減収減益となりました。

その結果、売上高は42億7千9百万円（前年同期比0.6%減）、セグメント利益は3億8千3百万円（前年同期比10.6%減）となりました。

④賃貸

賃貸事業、売電事業を行っております。一部の賃貸契約が終了したことで売上高は前期を下回りましたが、新規の賃貸契約が12月より開始されたことで利益は前期を上回りました。

その結果、売上高は4百万円（前年同期比8.0%減）、セグメント利益は4千6百万円（前年同期比10.6%増）となりました。

上記のセグメント利益については、セグメント間取引消去前の金額で記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態の状況につきましては次のとおりであります。

(資産)

流動資産は153億4千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億6千万円増加しました。これは主に仕掛品が5億1千万円、現金及び預金が3億5千8百万円増加したことによるものであります。固定資産は186億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億2千6百万円増加しました。これは主に有形固定資産が6億4千6百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は339億4千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億8千7百万円増加しました。

(負債)

流動負債は79億1千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億6千2百万円増加しました。これは主に買掛金が3億8千万円、賞与引当金が3億2千2百万円増加したことと、未払消費税等が1億9千2百万円、短期借入金金が1億5千3百万円、預り金が1億1千1百万円減少したことによるものであります。固定負債は32億3千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億4千7百万円増加しました。これは主に長期借入金が3億9千6百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は111億5千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億1千万円増加しました。

(純資産)

純資産合計は227億9千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億7千6百万円増加しました。これは主に利益剰余金が12億1千7百万円増加したことと、為替換算調整勘定が5千6百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は65.4%（前連結会計年度末は65.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期通期業績予想につきまして、2022年8月9日に公表いたしました業績予想値を修正しております。詳細につきましては、本日（2023年5月15日）発表の「2023年6月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,149,553	4,508,082
受取手形、売掛金及び契約資産	5,983,423	5,591,375
商品及び製品	233,280	448,414
仕掛品	1,645,667	2,156,634
原材料及び貯蔵品	1,507,312	1,477,821
その他	866,020	1,163,149
流動資産合計	14,385,258	15,345,477
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,694,659	9,289,794
機械装置及び運搬具(純額)	4,692,676	4,528,778
土地	2,033,804	2,001,780
その他(純額)	2,671,932	919,224
有形固定資産合計	16,093,073	16,739,579
無形固定資産	94,636	104,274
投資その他の資産		
投資有価証券	1,272,925	1,221,275
その他	417,375	539,732
貸倒引当金	△1,060	△1,060
投資その他の資産合計	1,689,241	1,759,947
固定資産合計	17,876,951	18,603,801
資産合計	32,262,209	33,949,279

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,786,970	4,167,666
短期借入金	1,397,835	1,244,077
1年内返済予定の長期借入金	478,780	651,790
未払法人税等	488,414	402,422
賞与引当金	138,631	460,906
役員賞与引当金	64,700	21,451
その他	1,301,303	971,227
流動負債合計	7,656,635	7,919,541
固定負債		
長期借入金	1,534,320	1,931,200
長期未払金	382,129	348,107
退職給付に係る負債	965,712	951,411
資産除去債務	8,547	7,455
固定負債合計	2,890,709	3,238,174
負債合計	10,547,344	11,157,715
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,442,450	2,442,450
資本剰余金	2,254,266	2,214,824
利益剰余金	15,773,510	16,990,783
自己株式	△26,081	△66,897
株主資本合計	20,444,145	21,581,160
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	614,110	574,626
為替換算調整勘定	117,795	61,212
退職給付に係る調整累計額	7,466	1,868
その他の包括利益累計額合計	739,373	637,707
非支配株主持分	531,345	572,696
純資産合計	21,714,864	22,791,564
負債純資産合計	32,262,209	33,949,279

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
売上高	19,475,876	19,948,930
売上原価	15,691,010	15,832,631
売上総利益	3,784,865	4,116,298
販売費及び一般管理費	1,524,668	1,632,381
営業利益	2,260,197	2,483,917
営業外収益		
受取利息	2,654	3,895
受取配当金	1,989	3,235
受取賃貸料	5,386	5,896
スクラップ売却益	6,936	8,172
為替差益	217,614	—
補助金収入	—	13,200
その他	13,523	11,574
営業外収益合計	248,105	45,974
営業外費用		
支払利息	22,740	30,587
為替差損	—	12,154
寄付金	34,275	60,469
その他	1,300	1,011
営業外費用合計	58,315	104,222
経常利益	2,449,986	2,425,669
特別利益		
固定資産売却益	5,901	12,428
投資有価証券売却益	29,465	86,966
特別利益合計	35,367	99,394
特別損失		
固定資産売却損	6,509	11,516
固定資産除却損	44,478	20,811
特別損失合計	50,988	32,328
税金等調整前四半期純利益	2,434,365	2,492,735
法人税、住民税及び事業税	804,153	865,268
法人税等調整額	△75,978	△113,622
法人税等合計	728,174	751,645
四半期純利益	1,706,191	1,741,089
非支配株主に帰属する四半期純利益	234,345	236,380
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,471,846	1,504,708

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	1,706,191	1,741,089
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	347,517	△39,484
為替換算調整勘定	△1,686	△67,143
退職給付に係る調整額	45	△6,113
その他の包括利益合計	345,876	△112,741
四半期包括利益	2,052,067	1,628,348
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,818,008	1,403,043
非支配株主に係る四半期包括利益	234,058	225,305

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第2四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であったPT. GLOBAL TEKNINDO BERKATAMAは、同じく当社の連結子会社であるPT. SUGINDO INTERNATIONALを存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(追加情報)

(表示方法の変更)

前第3四半期連結累計期間において、「売上原価」から控除していた有償受給取引における受給品に含まれる標準スクラップ価額について、銅材価格の高騰により金額的な重要性が増したことから、有償受給取引に係る加工代相当額をより適切に四半期連結財務諸表に表示するため、第1四半期連結累計期間より「売上高」に含めて表示する方法に変更しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替を行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の損益計算書において「売上原価」と「売上高」はそれぞれ1,978,111千円増加しており、損益に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間（自2021年7月1日至2022年3月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	金型	部品	機械器具	賃貸	計		
売上高(注)3							
日本	1,065,131	8,867,985	4,287,597	5,330	14,226,044	—	14,226,044
中国	—	2,208,321	975	—	2,209,297	—	2,209,297
タイ	7,708	2,436,321	—	—	2,444,030	—	2,444,030
その他	107,435	472,272	16,795	—	596,503	—	596,503
顧客との契約から生 じる収益	1,180,275	13,984,901	4,305,367	5,330	19,475,876	—	19,475,876
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,180,275	13,984,901	4,305,367	5,330	19,475,876	—	19,475,876
セグメント間の内部 売上高又は振替高	528,330	△616,140	291,203	177,300	380,692	△380,692	—
計	1,708,605	13,368,761	4,596,570	182,630	19,856,568	△380,692	19,475,876
セグメント利益	258,053	2,333,254	428,902	42,438	3,062,649	△802,452	2,260,197

(注) 1. セグメント利益の調整額△802,452千円には、セグメント間取引消去△12,015千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△807,945千円、棚卸資産の調整額14,662千円及びその他の影響額2,846千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自2022年7月1日至2023年3月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	金型	部品	機械器具	賃貸	計		
売上高(注)3							
日本	1,040,555	9,203,222	4,209,429	4,904	14,458,112	—	14,458,112
中国	—	2,827,263	758	—	2,828,021	—	2,828,021
タイ	—	1,773,435	—	—	1,773,435	—	1,773,435
その他	59,994	760,188	69,177	—	889,361	—	889,361
顧客との契約から生 じる収益	1,100,550	14,564,110	4,279,365	4,904	19,948,930	—	19,948,930
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,100,550	14,564,110	4,279,365	4,904	19,948,930	—	19,948,930
セグメント間の内部 売上高又は振替高	402,095	△303,609	68,012	221,325	387,823	△387,823	—
計	1,502,645	14,260,501	4,347,377	226,229	20,336,754	△387,823	19,948,930
セグメント利益	195,361	2,679,693	383,320	46,956	3,305,331	△821,413	2,483,917

(注) 1. セグメント利益の調整額△821,413千円には、セグメント間取引消去15,030千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△851,982千円、棚卸資産の調整額15,376千円及びその他の影響額163千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 報告セグメントの変更等に関する事項

「（追加情報）（表示方法の変更）」に記載のとおり、前第3四半期連結累計期間において、「売上原価」から控除していた有償受給取引における受給品に含まれる標準スクラップ価額について、銅材価格の高騰により金額的な重要性が増したことから、有償受給取引に係る加工代相当額をより適切に四半期連結財務諸表に表示するため、第1四半期連結累計期間より「売上高」に含めて表示する方法に変更しております。

前第3四半期連結累計期間のセグメント情報についても組替え後の数値を記載しています。当該変更により、組替え前に比べて「部品」セグメントの「売上原価」と「売上高」はそれぞれ1,978,111千円増加しており、損益に与える影響はありません。